

令和6年度宮古島市立久松学校 学力向上推進スクールプラン

学校教育目標

心身共に健康で、主体的に学び、自己実現をめざす生徒の育成

〈児童・生徒の実態〉
 ・課題解決に向けて自分の考えをまとめ、話し合う活動に積極的に取り組むことができる。
 ・将来の夢や目標を持つことができず、自立した学習につながらない生徒が多い。

〈研究テーマ〉
 自己マネジメント力を醸成し自己実現を目指す生徒の育成
 ～「創造・挑戦・自立」の資質・能力をキャリアの視点と結びつけて～

目指す児童・生徒像

夢を持ち、自己実現に向け意欲的に学び続ける生徒

知識・技能

心豊かで思いやりのある生徒

思考力・判断力・表現力等

自ら進んで、新たな事に挑戦し自立できる生徒

学びに向かう力・人間性等

〈育成を目指す資質・能力〉 ※学習の基盤：言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力

自立：様々な場面で学んだことを生かすことができる

往還

創造：「学びの表現」をすることができる

往還

挑戦：主体的・協働的に学び、課題解決することができる

〈具体的な取組〉

- 表現する（話す・書く）ために必要な知識・技能の定着を図る
- GSRノートの充実（内容：課題一覧の活用）
- 単元・授業デザインの改善（習得・活用及び探究）
- 朝ドリルの充実
- 振り返りシート（学期ごと）の活用
- ICT機器の活用→授業・自主学习

- 「生徒が自分の考えや意見を論理的に表現する」授業の工夫
- 効果的なICT（生徒用タブレット）の活用
- 「問いサポ」の再確認
- 各教科で重点化する資質・能力の育成に向け、各単元においてそれらを発揮している学びの姿を具体化し、見取る視点の共通理解を図る。
- 学びの連続が生まれる授業と家庭学習の往還を図る。
- 「日常的な授業モデル」参考

- 自己マネジメント力の醸成
- 各教科の単元のふり返り
- キャリアパスポートと連動した行事のふり返り
- 反省・改善・次への行動（ふり返りシート活用）
- 生徒会・学年委員会活動を通して、生徒の自治能力を育む

〈評価指標〉

- 県学力到達度調査→各教科県平均を上回る
- 県学びのたしかめ→各教科県平均を上回る
- 全国学調 各教科調査→±0以上

- 県学力到達度調査→各教科県平均を上回る
- 県学びのたしかめ→各教科県平均を上回る
- 全国学調 各教科調査→±0以上
- 生徒質問紙 ア：当てはまるが8割以上
- ・「課題の解決に向けて自分で考え取り組んでいる」
- 学校質問紙 ア：当てはまると回答している状態
- ・「授業で生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた」

- 生徒質問紙 ア：当てはまるが8割以上
- ・「学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し次の学習につなげることができる」
- ・「家で計画を立てて勉強している」
- ・「将来の夢や目標を持っている」
- 各学期ふり返りシート（キャリアパスポート）
- ・評価の根拠を具体的に書いている

	全国学調 4月 H31全国差 (県平均差)	到達度調査R2.2 H31 県平均差	全国学調 4月 R3 全国差 (県平均差)	到達度調査R3.2 R3 県平均差	全国学調 4月 R4 全国差 (県平均差)	到達度調査R5.2 R4 県平均差	全国学調 4月 R5 全国差 (県平均差)	到達度調査R6.2 R5 県平均差	全国学調 4月 R6 全国差 (県平均差)
国語	-1.8 (3.0)	2.5 中2	-1.6 (3.0)	6.1 中2	6.0 (11.0)	5.4 中2	4.2 (3.3)	8.1 中2	
算数・数学	0.2 (7.0)	7.9 中2	-3.2 (2.0)	14.4 中2	0.6 (10.0)	11.9 中2	-6.0 (4.5)	5.5 中2	